

SNSの投稿数、投稿頻度は生活の満足度に関係しているのか

牛塚聖 (22011038hu@tama.ac.jp)

1. はじめに

研究の背景として、SNSの投稿数や投稿頻度が人の生活の満足度に繋がっているのかを研究する。主にTwitter、Instagram、TICTOCを中心に調査する。

SNSはいろいろな人と関わることができることに加え、生活での写真や現在の様子を投稿し他のユーザーである友達に共有することが主になっており、SNSが生活の一部になっているのではないかと思いこの研究を思いついた。

「インスタ映え」というワードができ、SNSで映えた写真を投稿するためにその場所に行ったり、ご飯を食べに行く人も多い。

研究の目的は投稿数、投稿頻度が生活満足度に関係しているのか、人の環境や心境がSNSに現れるのか調査する。

2. 研究方法

参考文献を参考にする

学内の全学年対象に学生にアンケートを取る紙アンケートかGoogleフォームにするか、どちらも使うか検討中

今できているアンケートは仮でまだ訂正を加える予定。

3. 結果と分析

アンケートをまだ取っていないのでまだ分析できていない。

4. 結論

Tictocは見る人の方が多いのではないかと
思い研究に使えないのではないかと思った。
そのためTictocを含めたアンケートをまず最初
にゼミ内だけで取ってみる予定。その結果に
よってTictocを入れるか検討する。
アンケートをどれだけ取れるか、学年が偏ら
ないようになるべく全学年(4年生は少数になるか
もしれないが)取りたい。

参考文献

・SNS利用者の満足要因分析に関する考察
(伊藤俊彦、東田聡、2008)

SNSの利用満足度をはかり、その要因につ
いてより深い理解を可能にする可能性を示した。

・ソーシャルメディア・パラドックス:メディア利用
は友人関係を抑制し精神的健康を悪化させる
(河井大介, 2014)

ソーシャルメディアの利用によって友人関係や
精神的健康にネガティブな影響を及ぼすソ
シャルメディア・パラドックスの可能性が考えら
れる。よく投稿する人が一時的に友人関係満
足や孤独感に対してネガティブな影響を及ぼ
す傾向がある。